

元日本代表の山本隆弘さんが女子バレー部を指導



選手たちに体の使い方を指導する山本さん（左）。



最後は山本さんとのじゃんけん大会で締めくくりました。

表紙の写真から



12月15日、元バレーボール男子日本代表で現在は解説者やタレントとして活躍している山本隆弘さんが角館高校を訪れ、バレーボールクリニックを開催しました。山本さんは現役時代、バレーボール・Vリーグのパナソニックパンサーズ（大阪）に所属し、2008年には北京オリンピックに出場。左から繰り出す強烈なスパイクを武器に日本代表のエースとして活躍しました。

クリニックは、山本さんを現役時代から栄養サポートしてきた食品会社の明治が企画したもので、この日は引退した3年生を含む同校女子バレー部員18人が参加。山本さんは、ゲーム形式の練習やスパイク練習を見学し、気になったところを選手に伝えたり、体の使い方などを指導しました。女子バレー部の田口依吹主将（2年）は「クリニックは、細かい部分まで一つひとつ全員に指導があり、とてもよい機会だった。自分がセッターとして悩んでいる部分も的確なアドバイスをもらうことができた。教えてもらったことを1月の全県新人に生かすことができるように、明日の練習から意識してしっかり取り組んでいきたい」と話しました。

ポニーが角館高校でワークショップ

8年後の地域とわたしを考える

株式会社ポニーと仙北市は、地域における温泉や自然、資源の有効活用、産業振興および市民の健康増進を図ることを目的として、平成30年5月に健康・美のためのヘルスケアに関する連携協定を締結しています。ポニーでは、社内人材育成機関であるPOLA Universityでユニークなスキル開発や、そのための自己啓発カリキュラムの実施を行っています。

12月13日にポニーから講師を招き、角館高校で「未来の地域とわたし」というテーマの学習プログラムが実施されました。情報・家庭・美術コースの2年生51人が、8年後の地域・8年後のわたしのイメージを膨らませるというテーマでブロック玩具を使ったワークショップを受講しました。

2030年の仙北市をイメージして各々ブロック玩具を組み立て、それを通して、自分の未来の価値観を見つめ直す個人ワークなどを行いました。参加した高校生からは「難しく考えがちな進路やその悩みをブロック玩具ワークで楽しく見つめ直すことができた」などの感想がありました。



自分の未来を見つめ直すよい機会になったようです。

IT企業などが視察

サテライトオフィス誘致促進事業

市内にIT企業などのサテライトオフィスが増えることによる、若者の雇用の場・創業機会などの提供を目指して、12月15日から17日にサテライトオフィス誘致のための市内視察ツアーを実施しました。9月の視察ツアーに参加した首都圏IT企業など4社の8人が12月の視察ツアーにも参加しました。



2泊3日の視察では、田沢湖フニマス未来館見学やスノーシュー体験も行いましたが、アクティビティが多かった夏のツアーとは打って変わり、市内の企業訪問を中心に実施しました。市内企業7社を訪問して、経営者の方々と意見交換を行いました。ツアー参加者からは、市内での人材採用や市外への販路開拓などの質問などが活発にされました。

ツアー最終日には参加者から「アクティビティ中心の1回目のツアーは仙北市が好きになり、3か月後の2回目のツアーは企業訪問中心で仙北市でのビジネスを真剣に考える内容だった」と好評価をいただくことができました。ツアー終了後も引き続き参加企業を丁寧フォローすることで、市内へのサテライトオフィス誘致に向けて取り組みます。

令和4年度秋田県学校関係緑化コンクール第58回「全県花だんコンクール」

この度、神代小学校が「令和4年度秋田県学校関係緑化コンクール（学校環境緑化の部）」で東北森林管理局長賞を受賞し、その伝達式が市役所西木庁舎で行われました。「花のいのちを育む学園」を校是に花だん活動に取り組み同校は、昨年度、同コンクールで秋田県知事賞を受賞し、全日本コンクールでは入選を果たしています。

児童たちが活動を計画し、花を通じた地域交流を行っている同校。6年生になつてから環境委員会の活動の先頭に立ってきた金子蓮叶委員長（6年）は「委員長として指示を出すことは難しかったが、水やりを積極的に行うことができ」と活動を振り返りました。副委員長として委員長を支えた佐藤心湖さん（同）



右から公地置校長、南教育事務所仙北出張所の栗谷川学出張所長、金子蓮叶さん、佐藤心湖さん、清水瑛太さん、須田教育長。

神代中学校が各種大会で好成績

この度、神代中学校の生徒が各種大会で好成績を収め、12月20日、市役所西木庁舎に報告に訪れました。成績と感想を左記にご紹介します。

第44回少年の主張全国大会

▼努力賞／高田菜花さん（3年）

「ビデオ審査だったが、自分のよさを伝えられるように意識して撮った。今後このよう大会で自分の主張を試みたい」

「人権作文」コンテスト

▼協議会長賞／藤川実桜さん（3年）

「作文のテーマ『あたり前』とは何かを自分なりに考え答えを見出すことができた。それが協議会長賞につながり嬉しい」

毎日カッパ

▼中学校体力つくりコンテスト

▼優良賞／神代中学校 保健体育委員長・清水陽光さん（3年）

「体育の授業や放課後に全校で体力つくりに取り組んだ。今後も個々で能力を上げていくことができたいと思う」

第57回秋田県中学校秋季柔道大会

▼男子個人60キログラム級 優勝／田口悠歩さん（2年）

「今まで全県大会で悔しい思いをしてきたので、いつも以上に練習に励んだ。努力が結果につながって嬉しい」



前列右から高田菜花さん、佐藤心湖さん、藤川実桜さん、後列右から清水陽光さん、田口悠歩さん、藤村世海さん、須田教育長。

令和4年度秋田県身体障害者団体体育成功労者表彰

藤原シゲ子さんが受賞

10月6日、秋田芸術劇場ミルハス（秋田市）で行われた「第40回秋田県身体障害者福祉大会」で藤原シゲ子さんが秋田県知事から団体体育成功労者表彰を受賞しました。藤原さんは、昭和62年に田沢湖町身体障害者協会へ入会、現在は仙北市身体障害者協会の理事として活動されており、自ら各種事業や行事へ積極的に参加し、障がいのある方の社会参加および交流促進に尽力されたとして今回の受賞となりました。



受賞した藤原シゲ子さん。